

挑戦 ～翔ける思い～

「レーザー技術NO1」

「良い考えを持つ」



中村社長

「お客様のことを」

まず、皆さんには「良い考え方を身につけて欲しい」と思います。「良い考え方」とは、自社の場合「機械を扱う人の考え方」です。

例えば、製品は「良い機械」で作れますが良い製品は機械を扱う人が「良い考え」でなければ作ることはできません。

「良い機械」と「良い作業者がいて始めて「良い製品」が出来るのです。

お客様が我が社に何を求めているか、それは接客ではなく「良い製品」です。そうした意味でも、「良い考え」は必要不可欠なことなのです。

しかし、利益を追求していくことで「悪い考え」になる可能性もあります。

例えば、最近の食品業界での不祥事です。お客様を騙して利益を追求する信じがたい行為です。

そのような姿勢では一時的に

は利益は上がりますが、発覚してしまえば大きな制裁を受けることになります。

そして、一度「悪い考え」を持つてしまうと、どのように誤魔化すかという発想しか出てきません。

そうした発想にならない為にも「良い考え」を持つことが必要なのです。

「真っ向から挑戦」

「優れたレーザー技術」を追求することでお客様からの評価も良くなります。レーザー加工というニッチの分野でも確かな地位を築くことができます。

そして、いずれはその分野でNo.1になることも可能です。経営ビジョンにてレーザー加工界のリップカールトンを目指すと掲げたのはそのような意味があったからです。一見難しい事のように感じますが技術を高めていけば必ず結果として現れます。ただ、一筋縄でいかないことは確かなのです。皆さん1人1人の仕事に対する意識が、高い次元で保たれていなければいけません。

ト削減でどのように改善していくか考え方を深く掘り下げるということです。

表面上のことだけではなく原因を追究して欲しいのです。そのような基本的な事を高める事で「優れたレーザー技術」に繋がると思っています。

「志を」

追求し続けることはとても難しいことであります。

私自身、挫折しそうになった事は多々あります。しかし、ここまで続けられたのは「志」があったからです。その「志」を文章化したものが経営理念なのです。

皆さんも時には「何故ここまで働かなければいけないのか」と思うことがあると思います。そんな時、経営理念に共感していなければ苦しいときや辛いことに耐えられなくなります。だからこそ、皆さんには経営理念を理解して欲しいのです。強いて言えば皆さんがそのままで理解していないと自社も上辺だけの中身がない会社になってしまう。苦しい時だからこそ、皆で考えを共有して頑張っていきましょう。そうすれば必ずと結果はついてきます。